

# 輝

## 聴く人と一緒に楽しめるような演奏を

管楽器個人・重奏コンテスト県大会出場

坂部 彩さん(三好丘)



### ▶▶▶プロフィール

さかべ・あや 平成3年生まれ。北中学校3年生。吹奏楽部に所属、現副部長。昨年9月に出場した全日本学生音楽コンクールのフルート部門中学生の部では、予選を突破し本選出場を果たす。趣味は音楽鑑賞や宝塚観劇。あこがれの人は北アイルランド出身のフルート奏者ジェームズ・ゴールウェイ氏。今後やってみたいことは琴とハンドベルの演奏。

コンテスト本番では、本当に楽しく演奏することができました」と話すのは、今回紹介するフルート演奏で活躍する坂部彩さんです。坂部さんは3月13日に幸田町で行われた管楽器個人・重奏コンテスト西三河北地区大会に出場。上位奏者となるAクラスに選出され、さらにその中で上位8人に入賞し、見事県大会への出場を決めました。

坂部さんがこのコンテストに出場するのは今年で2回目。昨年はプレッシャーのために本番で力を出し切ることができず、Aクラスに選ばれたものの惜しくも県大会出場を逃してしまいました。「昨年の自分に足りなかったものは音

量」と「音程」。演奏している間の記憶もないほど緊張し、自分自身の演奏をすることができず、本当に悔しかったです」と坂部さん。その悔しさを胸に毎日練習を積み、今回のコンテストには、めりはりのある変化に富んだ明るい演奏曲・スターミッツの「フルート協奏曲下長調 Op.291」を携えて、満を持しての挑戦となりました。「この曲はとにかく明るく楽しい曲。それを心に刻み本番に臨みました。緊張はしましたが、とても楽しく演奏することができ、うれしかったです」とコンテストを振り返ります。坂部さんがフルートを始めたのは小学5年生のとき。音楽の授業でリコーダーを吹いて、もっと音の強弱がつけられる楽器を演奏してみたいと思い、家族の勧めで名古屋音楽学校のフルート教室に通い始めました。その後中学校では吹奏楽部に入部。現在は部活動と個人練習を両立させて、毎日2時間以上フルートを奏でています。「フルートの演奏は、とても楽しいです。この楽しいという気持ちを、演奏している自分だけでなく、聴いてくれる人も一緒に感じられる、そんな演奏ができたら」と瞳を輝かせます。また合奏などを通して、同じフルート演奏者との交流機会も増えた坂部さん。「全く知らない人たちと合奏することにより、音楽を通して交流する楽しさを知りました。これからも音楽を通して、友達を増やしていきたいです」と希望に胸を膨らませます。

これからもたくさんの人と一緒に、楽しくできる音色を響かせていってくださいね。

INTERVIEW WITH YOU

あなたにインタビュー

# 新学期を迎えて

## みよしの文芸

### 俳句

早春賦波の奏でる伊良湖浜 加藤 翠苑子  
 春浅し買いととのへし培養土 伊豆原 やゑ  
 早春の光を乗せて観覧車 佐藤 博子  
 末黒野や口笛吹けば犬駈ける 久野 也寸志

### 短歌

愛しみて亡夫が触れにし黒髪も今 大田 春子  
 記しなく老いて行くなり 小野田 のり子  
 幼子は「大丈夫だよ」と我の手を 握ってくれる観覧車の中  
 日脚伸ぶ窓に入る陽の明るくて春 岡本 君子  
 を思うも風につめたさ

### 狂俳

折シオカ 小出 桃源  
 春雪の重さに軋む仮設小屋 加藤 満弥  
 春雷 大地の生氣目醒ませる  
 舌足らず 念押さなんだのが悪い 林 美希



近藤 ひみのさん  
(三好上)

新学期で一番楽しみなのは音楽の授業。クラスの友達と一緒にタンバリンや木琴など、いろいろな楽器を演奏したいです。また4年生になるといよいよクラブ活動が始まります。マーチングバンドに入り、フルートの演奏をすることができたらいいと思います。



林 かつや 克弥くん  
(三好丘)

4月からいよいよ中学生になります。中学校で一番頑張りたいことは部活動。小学校の授業で2回ほど力又一本験をしたことがあるのですが、とても面白かったので、中学では力又一部に入部するつもりです。レギュラー目指して頑張りたいです。



加藤 ゆみか 悠水香さん(右)  
 愛衣加さん(左)  
(三好下)

4月に妹が中部小学校に入学し、一緒に通うことになりました。妹は新しい友達と木琴をやるんだと張り切っています。わたしもあこがれていた飼育当番になって、友達と一緒にウサギなどの世話をしたいと思います。姉妹仲良く頑張っていきたいです。

次回5月1日号のテーマは

### 「あなたのお出掛けスポットは」

広報情報課が皆さんのところへ突撃インタビューに伺いますので、ご協力ください。また郵便や電子メールによる「声」もお待ちしています。(4月11日(月)締め切り)